



小木 小木中学生 観光案内ボランティア



右手に見えますのは・・・ほお～
より観光客の皆さんに喜んでほしいの思いから、
解りやすい説明と話し方に工夫を加え、観光客からの
質問にも堂々と対応していました。

小木中学校生徒の有志の皆さんが、観光案内ボランティアを始めて三年目になりました。経験を積んだ生徒・先輩達の行動に感銘を受け参加したと、生徒の説明に、「熱意溢れる様子が心に染み入り、忘れられない思い出

作りができた」と案内を受けたお客さんも感激していました。

地域の方からも、「案内が上達して、すっかり地域の顔になった」と、喜ばれています。

地域の皆さんや先生方の理解と、活動する生徒達の熱意が相乗効果となり、街並みに活気が溢れていました。



◀今日もいっぱい案内できたらね!!

真野 炊き出し・非常食づくり訓練実施 7月31日(月)～赤十字奉仕団真野分団～

9月は防災を考える月ですが、佐渡市赤十字奉仕団真野分団では、毎年、畑野分団と合同で各種取組みを行っており、その一つ「炊き出し・非常食づくり」訓練が、真野公園で行われました。

訓練は、『ハイゼックス』という炊飯袋を使っての非常食づくりで、米約1合と水、梅干を入れ、袋の中に空気が残らないよう輪ゴムで固く締めます。沸騰している釜に入れ、待つことおよそ30分、袋の中でお米がいっぱい膨れ上がりました。冷ましてから袋を手で半分に割って、梅干入りの試食タイム。日頃から災害時に備える取組みが大切であると感じた1日でした。

なお、真野地区では、10月29日(日)に豊田・真野漁港多目的広場(サッカー、ゲートボールなどで使用)を会場に豊田集落の皆さんとともに真野地区防災訓練を予定しています。



佐和田 佐渡地区緑の少年団交流集会 8月10日(木)



佐渡地区緑の少年団交流集会が開催されました。島内の緑の少年団10団体、336名がオートパークさわたに集い交流を深めました。

午前中は、佐渡レクリエーション協会の多田茂実さんによる解読文字やジャンケンチャンピオンなどが行われ、はじめて顔を合わせる少年団員たちが協力し合い、レクリエーションを楽しみました。

午後からは、オートパークさわた周辺の樹木を対象にしたフィールドビンゴが行われ、各班にわかれてビンゴカードに書かれている樹木やクイズを探し回りました。

真夏の暑さの中、少年団員たちはオートパークさわた周辺をところ狭しと駆け回り、交流を楽しんでいました。



真野 八反ぼんぼりに挑戦 ～真野中学生～



昨年農家で使われなくなった農耕具八反を「ぼんぼり」に活用した取組みを商工会の皆さんが中心となつてすすめています。

真野中学校では、美術選択の2年生、3年生の生徒のみなさんが「八反ぼんぼり」の制作に挑戦、5月連休明けから地域の方々から指導をいただきながら18基の作品が完成しました。

作品は8月3日(木)の点灯式から、夏の真野まつりで賑わう真野新町商店街に120基の作品と共に飾られました。なかには、八反の木枠をうまく利用した「4コマ漫画」に仕立てた作品など楽しいものがいっぱいでした。自分達の作品が地域の中で飾られ、多くの人たちから見てもらえる、たいへん素晴らしい取組みでした。今後の活躍を期待します!



佐和田

獅子ヶ城まつり

8月11日(金)12日(土)



小学生、中学生によるマーチングパレードに始まり、ちびっこフェスティバルでは、園児たちがダンスや太鼓を披露し、あちこちから「かわいい」という声が聞かれました。本町商店街ではデコレーションバトル、海水浴場ではアサリつかみどりなど暑い中賑わいを見せていました。夕方、若獅子会の子どもみこしとおはやし

が練り歩き、芸能合戦では、様々な団体が日頃の成果を披露しました。翌12日は獅子ヶ城杯ビーチバレー大会が行われ、来場者のみなさんは夏祭りを満喫した2日間でした。

芸能合戦は金獅子賞に相川の「^{しこん}四魂」、銀獅子賞は佐和田の「^{りゅう}ドリー夢」銅獅子賞に「窪田青年団」が選ばれました。獅子ヶ城杯ビーチバレー大会は2人制男子優勝「HIDE.伊藤」、女子優勝「ドンナマドンナ」、4人制優勝「引越のサカイ」です。



新穂

新穂城跡のハスマつりが開催されました

8月5日(土)



ハスの刈りとり

この新穂城跡は佐渡百選にも選ばれ、当時の堀の様子をいまだに残していることで知られています。

下新穂にある新穂城跡のハスが今年も見頃を迎えました。このハスは下新穂・上新穂の両集落で植えたもので、毎年住民の手により多くの手間ひまをかけて育てているものです。祭りの会場は、数々の出し物や青空市場、模擬店を楽しむ人、お堀の周りを散策する人で夜まで賑わっていました。

また、11日(金)には集落の方により刈りとりが行われました。刈りとった花・葉はすぐに集落センター前に運ばれ販売されます。もうすっかりお盆の定番となっているようで、早朝にもかかわらず買い求める人が次から次へと訪れていました。

新穂

山王さんで逢いましょう

8月14日(月)



新穂地区の最大イベント「新穂ふるさと夏まつり」が山王広場で開催されました。

25回目となるこの祭りは、お盆の恒例行事としてすっかり定着し、これを楽しみに帰省する人も多

いと聞きます。小学校の鼓隊パレードや園児みこしなど炎天下の中を一生懸命歩く子どもたちの姿に、沿道を埋めた観客から盛んに声援が送られていました。またチビッコ鬼太鼓の競演も行われ、祭りムードを一気に盛り上げたようです。夕方はステージの芸能を楽しむ人で大変な賑わいとなりました。

特に、地元出身「相川瞳さん」の歌謡ライブショーが始まると一段と大きな歓声があがっていました。



両津

100回目を迎えた「子供と海の祭典」

(両津七夕まつり・川開き)8月7日(月)、8日(火)

このまつりは、今から約120年前の両津港開港を祝って始まったもので、今年で七夕まつりは第100回(川開き1回)となりました。当日は鼓笛隊、14組の子供山車パレードやちびっこ広



場などに、夏休み中の子供たちが元気いっぱいに参加したほか、10団体約330名が参加したふるさと民謡流しや、島内21団体による鬼太鼓競演なども行われました。また



今年は、100回目の七夕まつりを記念して花火100連発が打ち上げられ、その光景に圧倒され歓声が沸き起こる中、大盛況のうちに幕を閉じました。



羽茂 「第30回羽茂ふるさと祭り」
8月14日(月) 15日(火)



ふるさと祭りはお盆の帰省客が増えるこの時期に教育委員会羽茂事務所の主催で毎年開催されており、今年で30回目になります。

15日、お祭り広場の野外ステージで、芸能発表が行われました。恒例のつぶろさし等羽茂の芸能に加え、羽茂中学校リコーダー部のリコーダー演奏などが披露されました。観光客やお盆の帰省客など普段会う機会が少ない顔あわせで会話が弾み、笑い声が尽きませんでした。



畑野 第29回いこいの村まつり
8月14日(月)



第29回いこいの村まつりが多田漁港で開催され、およそ1300人の観客で賑わいました。地元若手による鬼太鼓や大獅子舞、佐渡民謡など様々な芸能が行われ、辺りが薄暗くなる頃にはまつりの目玉である海洋新能「狸々」が海に浮かぶ特設ステージで演じられました。

薪の炎に照らされた幻想的な舞に多くの観客が静かに見入っていました。まつりの最後には、色とりどりの美しい花火が松ヶ崎の夜空を彩り、花火が上がるたびに観客からは大きな歓声があがっていました。



相川 春日居・相川ふれあい交流
8月19日(土)~22日(火)



山梨県の旧春日居町(現在笛吹市)と旧相川町は平成元年から友好都市交流が行われていますが、合併後も友好交流に関する覚書を取

り交わし、児童交流を中心に続いています。

今年は、春日居の5年、6年生129名とスタッフ23名の合計152名が来島しました。到着早々歓迎式が行われました。

3日目に相川の児童と海水浴場でふれあい交流をし、色紙の交換等を行った後、待ちに待った海へいちもくさんにかけ出していきました。

海のないところから来た子供達は、海の広さ、美しさに感激していました。



赤泊 草木味噌なめ地蔵まつり
8月24日(木)



このお祭りは、徳和 草木地区に祭られているお地蔵様に味噌を塗り、一年間無病息災、豆に暮らせますようにとお参りするおまつりです。この日は、地区内

外からお参りする人が訪れ、お地蔵様の体や足などに味噌を塗り、腰が痛いのが良くなりますように、走りが早くなりますようにとお願いしていました。今年からは以前のように地蔵盆行事の24日に行うことになりました。一年ぶりにお堂から姿を現したお地蔵様も、みんなに会えてよかったと、微笑んでいるようでした。



金井

羽黒神社薪能が行われました 8月26日(土)



安養寺羽黒神社において、奉納薪能が行われました。

この薪能は、安養寺集落および佐渡観光協会金井支部が主体となって今回で20回目を数え、長い歴史のなかで多くの能のファンを魅了しています。

演目は、仕舞4組と能「羽衣」が執り行われ、杉木立に囲まれ、かがり火に照らされた舞台上、普段見

ることのできない幻想的な舞が見られるとあって、多くのカメラ愛好家の方々が客席を取り囲んでいました。



畑野

安寿天神まつり 8月27日(日)

畑野商店街を会場に安寿天神まつりが開催されました。今年はねり神輿が20周年を迎えるにあたって、新潟江戸神輿連合、東京昭島いろはが特別参加し、島内の参加者を含め総勢250名の神輿愛好者・担ぎ手が商店街をねり歩きました。畑野地区鬼太鼓の競演なども行われ、この日一番の盛り上がりとなりました。

また安寿よせもん市では、手工芸品など様々な露店が立ち並びたくさんの人々で賑わっていました。辺りが暗くなる頃には美しい絵とうろうや子供達が作った防犯とうろうに明かりが灯り、祭の雰囲気を一層盛り上げていました。



赤泊

熱闘! 第75回 赤泊地区運動会 8月27日(日)

第75回赤泊地区運動会が、赤泊総合グラウンドを会場に行われました。各地区とも小学生からお年寄りまで選りすぐりの選手が集まり、熱戦を繰り広げました。



水汲みリレー

玉入れ競争では、今年から教育委員会赤泊事務所

に配属された、ALTのキャサリンさんが玉の数を英語で

数えると、応援席からも続けて英語で数える声が聞こえたり、全チーム総当り戦の綱引きでは、これで優勝旗の行方が決まるとあって、応援席から大きな声援が起こるなど、和気あいあいとした中にも各チームの団結力も感じられました。当日の天候のように熱く戦い抜いた運動会でしたが、最後は僅差で南部チームが優勝旗を手に入れました。以下の成績は次のとおりです。

準優勝:徳和 3位:川茂 4位:赤泊 5位:三川



新種目の赤泊ダービー

随想

ゆや夢飛行 No.4

佐渡市長 高野宏一郎

アース・セレブレーション

今年もアース・セレブレーションの季節がきて、18日から20日まで小木は沸きに沸きました。

今年は、小木だけのアースから、佐渡のアースにと鼓童にお願いした結果、相川の春日神社(羽茂滝平から移築)で津村禮次郎氏の能との競演に続いて佐和田では、「ユラシアの風」と、雰囲気盛り上げてスタートを切りました。

初日には泉田知事がはじめてアースに来訪、2000人の聴衆を前に英語で挨拶され、3割を越す外国人はじめ観衆は大喜びでした。

最終日には対岸の上越市長は300人を越す同市市民と共に参加されて、ご挨拶を頂きました。木浦市長は英語が得意で、溢れんばかりの観衆をうならせました。

来年20周年を迎える、「アース・セレブレーション」はすでに世界のイベントに育ちつつありますが、毎年毎回進化を続け、一昨年から坂東玉三郎さんとの共演の成果か、他を寄せ付けない存在感を漂わせて圧巻でした。

観光の低迷に苦しんだ佐渡も少しずつ努力が実りつつあるのでしょうか、入りこみははや伸び悩み気味ですが、お客様の滞在日数はかなり伸びているように感じます。トキの放鳥、山野草トレッキング、古い町並み再生、能舞台の修復など、NPOはじめ地域の力強さが感じられるようになってきたこのころです。

佐渡の元気のために立ち上がってくれている太鼓集団鼓童の迫力と魅力に頼もしく反響しながら、群衆の興奮冷めやらない人いきれの中、急坂をゆくり下りて帰路にきました。



* 戸籍の窓 *

7.21~8.21 届出

うぶごえ

地区名	大字名	氏名	保護者	たんじょう日
両津	梅津	杉本 理紗(りさ)	昌義	7.28
"	両津湊	鈴木 諒雅(りょうが)	雅博	8.4
"	原黒	小池 泰生(たいせい)	一樹	8.4
"	水津	西戸 航希(こうき)	隆一	8.5
"	椎泊	伊東 瑠夏(るな)	和芳	8.7
相川	相川柴町	坂下 陽(よう)	真	7.22
"	姫津	西埜 志穂(しおん)	真一	8.1
"	稲鯨	大地 希(のぞみ)	勝之	8.8
"	稲鯨	大地 叶(かの)	勝之	8.8
"	相川水金町	宇佐美 帆乃香(ほのか)	貴史	8.9
佐和田	市野沢	森下 璃子(りこ)	恒	7.19
"	下長木	菊地 翔太(しょうた)	正敏	7.23
"	市野沢	山下 日葵(ひな)	英郎	8.14
"	鍛冶町	斎藤 瑞貴(みずき)	将真	8.15
金井	泉	本間 みや(みや)	宏彰	7.15
"	中興	関口 真穂(まほ)	淳	8.5
"	金井新保	門間 惺輝(しょうき)	信和	8.5
新穂	新穂長畝	渡邊 凌生(りお)	友裕	7.12

新穂	新穂田野沢	菊池 沙也加(さやか)	賢一	7.16
"	新穂皆川	三浦 あい(あい)	吉明	8.2
"	新穂青木	土屋 光壽(みつひさ)	光裕	8.9
畑野	宮川	榎 一紀(かずき)	克彦	7.15
"	小倉	近藤 里紗(りさ)	敏之	7.17
真野	真野	長 愛絢(まあや)	真功	7.24
"	真野	佐藤 蒼一郎(そういちろう)	大吾	7.29
"	真野新町	井杉 正人(まさと)	清久	7.30
"	吉岡	本間 匡樹(まさき)	優樹子	8.7
"	吉岡	高野 満暉(みつき)	雅巳	8.7
"	吉岡	中川 是音(せおん)	勝実	8.9
"	大倉谷	佐々木 和奏(わかな)	一暢	8.9
"	西三川	林田 真弥(まさみ)	祐一	8.9
"	椿尾	高野 璃乃亜(りのあ)	力	8.10
"	金丸	後藤 優空(ゆあん)	努	8.10
小木	琴浦	石塚 万里奈(まりな)	正博	8.12
羽茂	羽茂飯岡	風間 堅斗(けんと)	哲	7.17
"	羽茂本郷	米山 拓真(たくま)	威一郎	7.23
"	羽茂上山田	白井 泰誠(たいせい)	誠	7.25
"	羽茂本郷	岡崎 伊吹(いぶき)	健二	8.4

おくやみ

地区名	大字名	氏名	年齢	ご命日
両津	浜田	吉田 トラ	94	7.21
"	城腰	富樫 アキ子	76	7.21
"	秋津	大倉 カツミ	96	7.25
"	月布施	塚田 弘	73	7.25
"	真木	市橋 弘一	83	7.27
"	月布施	田中 ハツミ	71	7.30
"	両津湊	戸田 菊江	87	7.31
"	羽吉	高井 ムラ	93	8.1
"	加茂歌代	渡邊 孝治	89	8.2
"	河崎	角坂 勉	69	8.2
"	片野尾	小坂 シマ	94	8.2
"	岩首	佐藤 ミヨ	80	8.4
"	梅津	金子 トメ	96	8.11
"	両津大川	田中 彌生子	84	8.12
"	吾湯	菊池 智子	37	8.14
"	両津夷新	加藤 糸美	64	8.16
"	椎泊	宇佐美 五郎平	92	8.17
"	下久知	粕谷 キク	95	8.18
"	上横山	石瀬 サダエ	83	8.20
相川	稲鯨	岩崎 隆雄	64	7.11
"	稲鯨	岩崎 リカ	80	7.28
"	相川二町目	西山 孝	88	7.29
"	達者	濱辺 竹松	84	7.29
"	橋	宇留間 政子	90	8.3
"	北片辺	松下 吉次	85	8.3
"	小川	鈴木 フジ	83	8.3
"	橋	坂下 常太郎	85	8.14
"	高千	武内 五郎右衛門	90	8.14
佐和田	河原田諏訪町	桑野 朝子	75	7.21
"	真光寺	本間 キミ	83	7.22
"	八幡	小鷹 愛子	78	7.26
"	沢根	坂野 寛	71	7.28
"	石田	本間 孝治郎	91	8.10
"	窪田	風間 敏道	77	8.12
"	鍛冶町	池田 ミカ	99	8.13
"	青野	井高 敏幸	68	8.15

金井	水渡田	野尻 セツ	97	7.25
"	千種	本間 恵一	69	7.29
"	金井新保	本間 豊	75	7.29
"	金井新保	児玉 キク	94	7.31
"	水渡田	渡部 チヨノ	92	8.6
"	泉	高橋 ハツエ	86	8.6
"	千種	渡邊 満智子	76	8.9
"	中興	池 チヨ	93	8.14
"	貝塚	天池 ハツ	87	8.15
"	中興	土屋 太郎	97	8.19
"	大和	藤井 キヨエ	72	8.20
"	中興	源田 貞雄	84	8.21
新穂	新穂長畝	和田 幸作	85	7.23
"	新穂湯上	若林 芳男	78	8.16
畑野	三宮	矢田 武	76	8.9
"	目黒町	中川 有弘	70	8.10
"	栗野江	佐藤 村吉	92	8.11
"	小倉	加藤 久枝	78	8.13
"	栗野江	金子 フジ	96	8.19
真野	名古屋	右近 久武	79	7.31
"	真野新町	松本 トシエ	88	8.4
"	豊田	本間 逸次	59	8.5
"	椿尾	安藤 千代	93	8.5
"	四日町	知本 光治	78	8.10
"	吉岡	佐々木 巳代吉	86	8.13
"	吉岡	高野 ミサ	69	8.17
"	滝脇	安達 八千代	90	8.18
小木	小木町	猪股 末吉	80	7.28
"	小木木野浦	小林 ユキエ	62	7.30
"	宿根木	高津 タケ	92	8.12
"	田野浦	本間 実	37	8.13
"	小木町	小池 キヨシ	96	8.14
"	江積	松本 ユキ	93	8.17
羽茂	羽茂本郷	本間 ヨエ	81	7.30
"	羽茂本郷	齋藤 ヨシ	81	8.16
"	羽茂三瀬	仲川 治作	75	8.18
赤泊	徳和	佐々木 芳松	75	7.29

保護者やご遺族などの承諾を得て掲載しています。掲載について都合の悪い場合は市民課戸籍係へお申し出ください。なお敬称は省略します。



ALITって何？

ALITとは「Assistant Language Teacher」の略であり、「外国語指導助手」のことです。現在、佐渡市雇用のALITは9人おり、その内の8人は国のJET(ジエット)プログラムに基づいて招致された青年たちです。JETプログラムとは、外国語教育の充実と地域レベルでの国際交流の進展を図る目的で創設され、日本と招致国との相互理解、また地域の国際化推進を目指しています。

ALITは、小学校における総合的な学習の時間等の英語活動や中学校における英語授業等に協力しているほか、地域住民参加の英会話教室等にも積極的にかかわり、活動しています。

佐渡市のALIT

「佐渡のすべての子どもたちが外国人ALITとふれ合う機会をもてる」ことを目指して、市内すべての小・中学校への巡回指導を昨年度の2学期から実現しました。さらに、小学校においては、今年度の2学期から最低でも月2回の巡回指導をしています。

佐渡の子どもたちが外国人ALITとのかかわりを通して、「コミュニケーション能力の育成を図り、国際化に対応した教育が二層推進されることを期待しています。」

佐渡市のALIT9人(8月に来島した新規4人を含む)が、2学期から巡回する小学校・中学校校名を紹介します。



④渡辺マリ
(女・元JET・佐渡市在住)
【小】両尾・河崎・加茂・金井・金井吉井



③メリッサ・マーシュ
(女・アメリカ・1年目)
【小】両津吉井・沢根・河原田・八幡・二宮【中】佐和田



②ケリー・ハンソン
(女・アメリカ・1年目)
【小】相川・七浦・金泉・高千
【中】相川・高千



①キャメロン・アーチボルド
(男・スコットランド・2年目)
【小】内海府
【中】東・南・北・内海府・前浜



⑨キャサリン・グレイ
(女・カナダ・1年目)
【小】岩首・野浦・赤泊・川茂
【中】小木・赤泊



⑧マシュー・ダウンス
(男・アメリカ・3年目)
【小】小木・深浦・羽茂・大滝・小村【中】羽茂



⑦イーオン・ウッド
(男・アメリカ・2年目)
【小】片野尾・馬首・浦川・真野・西三川(笹川分校)【中】真野



⑥キャロライン・アーチボルド
(女・スコットランド・2年目)
【小】畑野・後山・小倉・松ヶ崎
【中】畑野・松ヶ崎



⑤アニー・グリーン
(女・アメリカ・1年目)
【小】両津・新穂・行谷
【中】金井・新穂

第15回関東小木人会総会

7月23日(日)午前11時より東京都新宿区信濃町のジョン万次郎アトレ信濃町店で、総勢130名超が出席して開催されました。

第一部の総会では、木村会長の開会挨拶および事業報告に引き続き、総会議事の審議が行われました。11名の来賓の御紹介の後、中野泷新潟県議会議員、佐渡市長代理中川義弘企画財政部長、原田佑三郎首都圏佐渡連合会顧問から祝辞を込めた御挨拶がありました。また、斉藤博佐渡市小木支所長より郷土状況講話が行われました。

第二部の懇親会では、本会で相談役に就任された渡辺敏雄前関東小木人会会長の発声による乾杯の後、懇談に入りました。郷土芸能の小木おけさ、佐渡おけさ、両津甚句が、二十一世紀おけさアートの会および首都圏佐渡連合会有志による踊りと共に紹介されました。

お楽しみ抽選会では、参加者皆様の一喜一憂する場面も見られました。恒例の佐渡おけさ大輪踊りでは、会場一杯を使っておどり、次の再会を約して午後3時に散会しました。

(関東小木人会幹事 榎谷端夫 記)



トキのえさ場 (ビオトープ)づくり

ボランティア募集!!

トキ推進室では、佐渡の空に再びトキが舞うことを願って、そのえさ場となるビオトープを整備します。トキの森公園にあるビオトープを整備する作業ボランティアを募集しますので、みなさまのご支援をお願いします。

日時 / 10月1日(日) 9:00 ~ 12:00 (8:30集合)

場所 / トキの森公園(新穂長畝)

募集人数 / 20名

集合場所 / トキの森公園駐車場

持ち物 / 鎌、くわ、なた、水田長靴(無い場合は用意します)作業のできる服装

申し込み先 / 9月27日(水)までに、住所・氏名・電話番号を下記連絡先までご連絡願います。

なお、雨天の場合は中止とします。

連絡先 / 市役所 環境課トキ推進室(新穂支所内)

☎ 22 - 3119(直通) FAX 22 - 3176

雨天時お問い合わせ(当日のお問い合わせ)

市役所 新穂支所 ☎ 22 - 3111

第3回

海洋深層水セミナー佐渡大会 開催

「海洋深層水利用の新たな展開を目指して、佐渡からの発信」をテーマに、セミナーが開催されます。セミナーでは、大学教授による講演のほか、自治体、研究者、企業の関係者などが「海洋深層水利用の可能性」や「佐渡市における海洋深層水の利用」など最新の研究成果や取り組みについて発表します。多くの方の参加をお待ちしています。

日時 / 10月7日(土) 9:30 ~ 17:15(受付9:00 ~)

会場 / 畑野農村環境改善センター

参加費 / 無料(セミナー要旨集:会員1,000円、非会員2,000円)

懇親会 / セミナー終了後、両津やまきホテルにて懇親会が開催されます。

● 時間:18:00 ~ 20:00 会費:5,000円

*セミナー会場から懇親会会場までは送迎バスが出ます。

主催 / NPO法人 日本海洋深層水協会(佐渡市共催)

お問い合わせ

第3回海洋深層水セミナー実行委員会事務局

NPO法人 日本海洋深層水協会

☎ 045 - 312 - 1321

市役所 商工課(海洋深層水推進係)

☎ 81 - 2611

【山口・佐賀・佐渡】全国三鷺流狂言の競演!!

鷺流狂言「千鳥」を楽しむ集い

とき / 平成18年10月14日(土) 9:30 ~

ところ / 大膳神社能舞台(雨天時:堀記念能楽堂)

お問い合わせ / 佐渡鷺流狂言研究会 ☎ 55 - 2262(本間さん)

プログラム

□ 講演「鷺流狂言の源流をたどって」(仮題)
武蔵野大学名誉教授 小林貴氏

□ 公演
狂言

山口鷺流狂言保存会「千鳥」

高志狂言保存会「千鳥」

佐渡鷺流狂言研究会「千鳥」ほか

能

真野能楽会「船弁慶」



山口鷺流狂言研究会『ちょうサヤようさ...』



佐渡佐渡鷺流狂言研究会『見ぬようにしてな』



▶ 高志狂言保存会『御馬が参る。御馬が参る...』

【主催】佐渡鷺流狂言研究会 【共催】山口鷺流狂言保存会・高志狂言保存会 【協力】真野能楽会・佐渡能楽文化研究所



市の魚
ブリ



市の鳥
トキ



市の木
アテビ



市の花
カンゾウ

市の面積855.10km²(平成16年10月1日) 市の海岸線281.7km(平成16年3月31日)

発行・編集 佐渡市役所 総務部秘書課広報広聴係 佐渡市千種232番地
TEL0259(63)3111・FAX0259(63)3300

ホームページアドレス <http://www.city.sado.niigata.jp>

発行日 平成18年9月15日